

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成30年度)

施設の名称	宮城県宮城野原公園総合運動場
指定管理者の名称	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
施設所管部課(室)	教育庁 スポーツ健康課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミズノグループ	
平成29年 4月 ~ 令和4年 3月	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
	所在地	仙台市青葉区錦町一丁目3-9
指 定 期 間	平成 29年4月 1日 ~ 令和4年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県宮城野原公園総合運動場	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11-6	
設 置 年 月	昭和25年 4月	
根 拠 条 例 等	県立都市公園条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施設の 内 容	敷 地 面 積	154,156.77㎡
	構 造	宮城テニスコート:クラブハウス 鉄骨造2階建, 宮城相撲場:鉄筋コンクリート造平屋建
	内 容	テニスコート(人工芝10面) 相撲場
開 館 (所) 日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び施設点検日12/28, 1/4 を除く毎日	
開 館 (所) 時 間	夏時間 4月1日~10月31日まで 8:00~19:00 冬時間 11月1日~3月31日まで 8:00~18:00 その他 土曜日・日曜日・祝祭日 8:00~17:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 本施設の管理運營業務 2 本施設の利用許可に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の行為の許可に関する業務 5 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 7 その他本施設の管理運營業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料、行為許可使用料(独占利用料含む)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
テニスコート開館(所)日数	359 日	355 日	301 日	83.8%	84.8%
延べ利用者数	52,100 人	51,123 人	44,322 人	85.1%	86.7%

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
相撲場開館(所)日数	359 日	355 日	356 日	99.2%	100.3%
延べ利用者数	630 人	174 人	348 人	55.2%	200.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
テニスコート	52,100 人	48,078 人	42,444 人	81.5%	88.3%
相撲場	630 人	134 人	248 人	39.4%	185.1%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	人	3,085 人	1,978 人	#DIV/0!	64.1%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	52,730 人	51,297 人	44,670 人	84.7%	87.1%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
県指定管理料	12,904	14,100	14,100	109.3%	100.0%
利用料金収入	9,190	9,276	7,838	85.3%	84.5%
その他	847	11,135	11,950	1410.9%	107.3%
収入計 (a)	22,941	34,511	33,888	147.7%	98.2%

(2) 支出

人件費	8,876	12,129	12,356	139.2%	101.9%
施設管理費	13,240	21,900	21,268	160.6%	97.1%
事業運営費	825	482	264	32.0%	54.8%
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	22,941	34,511	33,888	147.7%	98.2%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(単位:千円, %)					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成30年度) (A)	前 年 度 (平成29年度) (B)	評価対象年度 (平成30年度) (C)		
事業費	364	232	14	3.8%	6.0%
参加料収入	461	250	250	54.2%	100.0%
収入計 (a)	825	482	264	32.0%	54.8%
(2) 支出					
人件費	336	266	245	72.9%	92.1%
施設管理費	350	82	0	0.0%	0.0%
事業運営費	139	134	19	13.7%	14.2%
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	825	482	264	32.0%	54.8%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0		
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額	0	0	0		

6. 評価対象年度(平成30年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<p>○当事業団内において、事務局と担当課、当該施設の組織としての位置づけを明確にして役割分担し、組織全体で指定管理業務に取り組んだ。</p> <p>○業務分掌により施設における業務について役割を分担し、職責を明確にした管理運営体制を構築した。</p> <p>○配置職員は資質向上、スキルアップを目的とし、各種研修を受講し、安全・安心な管理を徹底するとともに利用者サービスの向上を図った。特に窓口サービスの基本となる接遇やクレーム対応研修、個人情報の取り扱いやコンプライアンスの研修には力を入れ取り組んだ。</p>		<p>○危機管理から経理事務ほか各種事務については事業団全体で役割を分担し、円滑に遂行した。</p> <p>○県担当課、楽天野球団ほか関係団体との連絡体制においては、事業団事務局および当該施設において担当者窓口を明確化し、業務によっては専任の担当者を置くことで効率的な管理運営を行うことができた。</p> <p>○職員の資質向上・スキルアップについては、事業団全体での人材育成(研修)計画により取り組み、加えて施設での伝達研修等の内部研修により配置職員全員の資質向上を目指した。</p>		S	<p>組織の位置づけを明確し、各種事務の役割を分担するなど、組織全体で取り組む姿勢が見られた。また、人材育成(研修)計画のほか効果的な内部研修を行うなど、職員の資質・能力向上に取り組んでいる。</p>	A
人員体制	正規	9人	非正規	5人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○指定管理料においては、見込まれている修繕費500千円を超え560千円相当の修繕を実施した。</p> <p>○専門業者による相撲場土俵の補修・整備を実施した。</p> <p>○専門業者による各種設備の保守点検や公園内の樹木管理業務を実施した。</p> <p>○職員による日常点検を実施し、特にテニスコートにおいては、コート面の剥がれや亀裂を速やかに職員により接着するなど補修を施した。</p> <p>○職員により、日常点検のほかチェックリストに沿った月1回の月次点検を実施した。</p> <p>○定期的に職員によりテニスコート砂整備や公園内除草等を実施した。</p> <p>○施設の現状について、県と情報を共有しながら維持管理に努めた。</p>		<p>○テニスコートにおいては、職員による日常点検と整備・補修、専門業者による修繕により、適正な維持管理ができ、不具合による長期利用休止をすることなく供用することができた。</p> <p>また、クラブハウス軒天落下時は、速やかに応急対応したことで、利用者への影響を防止安全に供用することができた。</p> <p>○相撲場土俵においては、専門業者による適切な補修・整備を計画的に実施することで良好な状態を維持するとともに、長寿命化を図ることができた。</p> <p>○公園出入口(ポプラロ)門扉損壊の速やかな対応や樹木管理を適宜実施したことで、安全かつ美観も損なうことなく公園内の適切な維持管理をすることができた。</p> <p>○県と情報を共有することで適切な維持管理と今後の修繕計画立案に役立てることができた。</p>		S	<p>職員の日常的な保守点検などにより、修繕箇所の早期発見に努めている。</p> <p>また、劣化しているテニスコート及び相撲場については、利用者の安全性を第一に、予定する修繕費用を超過して修繕を実施した。</p>	S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>○当該施設ホームページ(トップ画面)にテニスコート空き状況お知らせ画面を設け、随時職員が更新することで最新の予約状況を提供した。</p> <p>○テニス一般利用申込については抽選制とし、公平に活動機会を提供した。</p> <p>○テニス一般利用申込については利用日2日前まではFAX申込を可とした。</p>		<p>○最新のコート空き状況の情報を提供することで最大限の利用機会を提供し、効率的に施設を供用することができた。あわせて雨天時におけるコート状態についての情報を提供することで利用者サービスの向上を図ることができた。</p> <p>○テニスコートについては、抽選による公平な利用機会の提供とFAX申込による利用者の利便性向上を図ることができた。</p>		S	<p>主要施設であるテニスコートについて、ホームページ上で最新の予約状況を提供するなど、利用者のニーズに応じた運営を行っている。また、利用申込において、2日前までFAX可とするなど、利便性の向上に努めている。</p>	S
④自主事業の実施	<p>○初心者テニス教室(一般)を2期にわたり開催した。</p> <p>○小学生テニス教室(4~6年生)を短期集中型プログラムとして開催した。</p>		<p>○テニス競技の普及振興ばかりではなく、テニスを通じ、生涯スポーツ活動の場を提供し、スポーツ活動人口の拡大に貢献した。</p> <p>○小学生に対し、テニスを通じてスポーツ活動の楽しさを知ってもらい、仲間づくりと、今後の活動継続のきっかけを与えることができた。</p>		A	<p>初心者テニス教室や小学生テニス教室を開催し、新規利用者の増加や競技力の向上、生涯スポーツ活動の実施につながる取組を行っている。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<p>○テニスコートの早期開放(使用時間延長5:00~8:00)を実施した。</p> <p>○当該施設ホームページ(トップ画面)にテニスコート空き状況お知らせ画面を設け、随時職員が更新することで最新の予約状況を提供した。</p> <p>○熱中症対策として、気象庁の注意情報発表時は、クラブハウス会議室に冷房を入れ休憩スペースとして無料で開放した。</p> <p>○テニスラケットレンタル・テニスボール販売を実施した。</p> <p>○テニスボールカートの無料貸出を実施した。</p> <p>○テニスコートクラブハウス前のスペースを有効活用し、自動販売機(飲料)を設置した。</p> <p>○テニスコートクラブハウス男女各更衣室にリターン式(無料)のコインロッカーを設置した。</p> <p>○市政だより(仙台市版・宮城野区版)や河北ウィークリー(フリーペーパー)へ教室参加者募集案内を掲載しPRを図った。</p> <p>○月間行事予定表や教室参加者募集案内についてホームページに掲載するとともに、紙媒体を市内スポーツ施設等に設置しPRを図った。</p> <p>○施設パンフレットを作成し、市内スポーツ施設等に設置しPRを図った。</p>		<p>○テニスコートの早期開放を実施することで、県民の要望に応え、より多くのスポーツ活動の機会を提供することができ、スポーツ活動人口の拡大に寄与することができた。</p> <p>○ホームページでテニスコートの最新の空き状況を提供し、また、随時コンディションをお知らせすることで気軽に利用しやすい環境を整えることができた。</p> <p>○利用者に対する安全管理の一環として、冷房入りの休憩スペースを無料で開放することで、プレーヤーや見学者の熱中症予防に貢献した。</p> <p>○テニスコート側への自動販売機(飲料)の設置や更衣室へのコインロッカー設置等の環境を整備したことで、テニス利用者へのサービスが向上した。</p> <p>○テニス関連物品のレンタル(無料・有料)や販売をすることで利便性の向上を図ることができた。</p> <p>○各種媒体での広報展開により、自主事業や施設について幅広くPRすることができた。</p>		S	<p>早朝時のコート開放やクラブハウス開放に伴う各種対応、自動販売機(飲料)やコインロッカーの設置など利用者のニーズに応じた運営を行っている。また、ホームページ上での最新情報の提供やテニス関連物品のレンタル・販売など、利便性の向上に向けた取組を行っている。</p>	S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○「お客様の声」BOXをロビーに設置し、利用者ニーズの把握に努めた。</p> <p>○窓口や電話での要望・苦情についても抽出する仕組みを構築し対応した。</p> <p>【代表例】 ⇒車いす利用者より「芝の浅いNo.5・6コート」を利用させてもらいたいとの要望あり。車いすの方のコート利用時は可能な限り調整し配慮することとした。</p> <p>○テニスコートの不具合に特化した「不具合報告書」をクラブハウスに設置し、利用者からもタイムリーに不具合の情報を収集した。</p> <p>【代表例】 ⇒No.5コートセンターストラップの不具合が報告され、速やかに予備のストラップと交換した。</p> <p>○利用者意見交換会の実施</p> <p>【代表例】 ⇒早朝テニス利用団体と意見交換会を実施した。（今後に向けて要望等）</p>	<p>○お客様の声(投書)により寄せられる要望・苦情だけでなく、利用者との普段のコミュニケーションから、かまえることなく気軽に寄せられた要望等についても抽出し、職員間での共有により速やかに対応できたことにより利用者の満足度向上に繋げることができた。</p> <p>○職員による点検だけではなく コート不具合報告書により利用者から寄せられた情報を活用することで、すみやかなコート・設備の維持管理ができた。またそれにより利用休止を未然に防ぎより多くの利用機会を提供することができた。</p> <p>○利用者との意見交換会により、今後の体制にむけての意見交換ができ、さらには意見交換をすることで、信頼関係を構築するきっかけとなり有意義であった。</p>	S	<p>各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。また、把握した苦情・要望については検討のうえ、速やかな対応を実施している。</p>	A
⑦安全対策	<p>○職員による巡回・設備点検(日常)実施。</p> <p>○職員によるチェックリストに基づいた施設設備の定期点検実施。(月1回)</p> <p>○テニスコートクラブハウスへの機械警備(利用時間外)および警備会社警備員による利用時間外の公園内巡回警備。</p> <p>○テニスコートへの防犯カメラ設置。(コート・クラブハウス出入口)</p> <p>○隣接する交番との連携による警戒の実施。⇒日常的に連絡を密にとりながら、不審者が来場した場合の巡回なども要請。</p> <p>○窓口へのカラーボール設置。</p> <p>○危機管理マニュアルに基づいた危機管理の実施。</p> <p>○当事業団組織全体のBCPIに基づいた組織全体での災害時対応訓練の実施(年2回)</p> <p>○防火・避難訓練(年2回)の実施。</p> <p>○心肺蘇生法・救急法研修(外部講師)の受講と受講者による伝達研修等内部研修の実施。</p>	<p>○日常および定期点検により発見した危険箇所や不具合等について速やかに対応することができ事故防止にもつながった。</p> <p>○隣接する「総合グラウンド前交番」と当該施設で相互に頻繁に行き来し、情報を交換しながら、日常的に警戒体制がとれたことは有効であった。施設からの依頼時の巡回だけではなく、特に何もなくても、適宜巡回パトロールをしていただくことにより公園内防犯において抑止力となっている。</p> <p>○各種訓練および研修により、職員の危機管理意識や防犯意識、救急対応の意識を高め、非常時に備えている。当事業団として組織全体での取り組みでもあることから、人事異動により職員が入れ替わっても差がでないように対応している。</p>	S	<p>職員による日常の安全対策、施設の定期点検による安全対策等、必要に応じた対策を行っている。また、各種訓練や研修により、職員の危機管理等に対する意識を高め、組織全体で取り組む姿勢が見られている。</p>	A
⑧県民の平等利用	<p>○施設管理運営規程を遵守し、優先、専用利用の予約受付を平等に行った。</p> <p>○テニスコートにおける一般利用については毎月1回公開抽選日を設け、利用上限を決め、抽選を行うことで、特定の利用者に偏ることなく誰でも公平・平等に利用できるよう配慮した。</p>	<p>○施設管理運営規程に基づく年間利用調整および抽選制度により県民の平等利用を達成できた。</p>	S	<p>年間利用調整及び抽選制度により、特定の団体等に偏った競技利用及び一般利用が生ずることなく県民の平等利用が認められる。</p>	A
⑨個人情報の保護	<p>○当事業団の個人情報保護規程及び特定個人情報取扱規程を遵守し適正に取り扱いをしている。</p> <p>○施設長は仙台市主催の「情報管理者研修」を受講し、適正な管理を行った。</p> <p>○職員に対しては、仙台市主催の「個人情報セキュリティ研修」等の受講や内部で実施する複数の研修により、意識を高め、個人情報の適正な取り扱いを行った。</p> <p>○個人情報の記載されている書類については、施錠できるキャビネットに保存する等管理を徹底した。</p>	<p>○個人情報保護規程等を遵守し、全職員が情報を適正に取り扱いしたことで漏洩事故は発生しなかった。</p> <p>○職員研修により個人情報保護の意識を高め情報漏洩防止に努めることができた。</p>	S	<p>個人情報保護規程の遵守、また、職員研修の実施など、情報の漏洩等事故防止に努めている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	○テニスコートの利用人数については、当初計画に対し85.1%となり、目標を下回った。これは冬期の改修工事のため、2か月間全面休場したことによる影響が大きかった。 休場を考慮すると概ね昨年同様の水準であった。 ○相撲場については、当初計画を下回ったものの前年の利用者実績は大きく上回り、対前年比は200%とすることができた。	A	当初計画に対しては、下回ったものの、テニスコートについては改修工事の影響によるもので、相撲場については前年実績を上回り、安定した管理運営が行われていた。	A
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	○利用料金収入については、対計画比、対前年比とも90%を下回ったが、改修工事に伴う2か月間の全面休場したことによる影響が大きかった。 休場を考慮すると概ね昨年同様の水準であり、利用料金収入がない期間がある中、適切に管理できた。	S	施設の修繕においては、指定管理料以外の修繕費を支出し、施設の維持管理及び収益の確保に努めている。 利用料金収入については、対前年度・対計画ともに下回る実績であったが、テニスコートの改修工事による休場の影響であり安定した運営となっている。	A
⑫その他の取組	○楽天野球団と連携し、共催事業を積極的に実施することで公園全体を有効活用した。 【具体例】 ⇒マラソン・駅伝大会・弟子入り体験 他 ○地域活動への貢献として、公園内で行う地元町内会夏祭りへの協力や「宮城野区マイタウンスポーツ協会」へ参画した。 ○冬期積雪時においては、職員が除雪機による除雪をおこない、速やかに公園内歩行者の通路を確保した。 ○地元の中学校を中心に職場体験を積極的に受け入れた。	○楽天野球団との共催事業により、公園全体を有効活用しながら賑わいを創出し、より多くの県民が宮城野原公園に親しむ機会を提供することができた。 ○地元住民にとっての施設・公園の役割を考え、地元に変えられる公園管理を目指し、地域貢献することができた。	S	楽天野球団との連携、各種イベント等への協力及び地域貢献活動など、公園全体の利活用の促進に向けた取組みを行っていた。	A
総合評価		○全般的には、事業計画通り、またはそれ以上の管理運営ができた。常に利用者ファーストの姿勢でニーズに応えながら、年間を通し安全・安心な施設運営をすることができた。 ○ともに公園を管理する楽天野球団との強い連携による事業展開により、地域・施設の特徴を最大限に発揮した運営をすることができた。	S	楽天野球団との連携のもと利用者の立場に添った施設運営を実施しており、年度事業計画に掲げた業務・事業が確実に履行されていた。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	【公園全体】 ○全体的に点灯しない外灯が比較的多く見受けられる。楽観戦者も多数来園するため、安全管理上からも、H29に調査した結果をもとに、修繕する必要がある。 ○外周フェンスが全体的に劣化し倒れる恐れもあるため計画的に改修する必要がある。 ○井水系統(トイレ・散水で利用)に漏水や想定利用者数を超えた利用による機能不足が発生しているため改修・更新が必要である。 【相撲場】 土俵屋根の劣化が著しいため全面改修の必要がある。	照明施設及び外周フェンスについては、費用対効果の検証、他施設の修繕計画等を見極めながら対応を検討していく。 また、当施設についてはスポーツ施設利用者以外の公園利用者やプロ野球観戦者等が多数来所することから、公園全体の利用者の安全確保が課題となっており、引き続き近隣関係施設・関係機関との連携を密にし、管理運営に努める必要がある。